

大学図書館研究会東京地域グループ
2021/2022年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2020/2021年度活動総括	1
1.2.	2020/2021年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2021/2022年度活動方針	3
2.2.	2021/2022年度予算案	4
2.3.	2021/2022年度地域グループ運営委員会及び会計監査人	4

1. 第1号議案

1.1. 2020/2021年度活動総括

① 特記事項

1. 会報編集小委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』5月号の編集を担当した。
テーマ：それぞれのDX（デジタルトランスフォーメーション）
2. 2020年10月に開催された第51回全国大会（オンライン）実行委員会に運営委員5名、オブザーバー2名が参加した。
3. 『大学図書館問題研究会誌』第46号(冊子)を、東京地域グループ会員の希望者に無料配布した。

② 研究企画（担当：安達、高瀬、松原）

情報交換会を3回、関東地域グループ合同例会を1回、例会を1回開催した。

- 第1回情報交換会
日時：2020年9月26日（土）10:30-12:00
会場：オンライン開催（Zoom）
トークテーマ：好きな本の紹介、コロナ禍における学生スタッフ等との協働について他
参加者数：14名
- 第2回情報交換会
日時：2021年1月11日（月・祝）14:30-16:00
会場：オンライン開催（Zoom）
トークテーマ：「学芸大デジタル書架ギャラリー」について
話題提供：高橋 菜奈子 氏（東京学芸大学）
参加者数：20名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2021年1月23日（土）17:00-19:00
会場：オンライン開催（Zoom）
テーマ：ドイツの日本専門図書館の取り組み
講師：蓮沼 龍子 氏（国際交流基金 ケルン日本文化会館図書館）

共催：埼玉地域グループ、千葉地域グループ
参加者数：53名

- 第3回情報交換会
日時：2021年5月23日（日）10:30-12:00
会場：オンライン開催（Zoom）
トークテーマ：情報収集の方法
参加者数：22名
- 第1回例会
日時：2021年6月19日（土）10:30-12:00
会場：オンライン開催（Zoom）
テーマ：神奈川大学みなとみらい図書館、九州大学中央図書館オンライン見学会
講師：吉場千絵氏（神奈川大学図書館）、小池孝昌氏（神奈川大学図書館）、斎藤未夏氏（東京大学附属図書館）、金子英弥氏（九州大学附属図書館/JUSTICE事務局）
参加者数：134名

③ 広報（担当：安達，下山）

東京地域グループの情報を発信する手段として、地域グループニュースレター・地域グループメーリングリスト（以上地域グループ会員向け）、Webサイト・Twitter（以上2つは大図研非会員等対外向けを含む）を使用し、またこれらの安定運用に努めた。

1. 東京地域グループニュースレターを4回発行した。
・249号（2020年11月） / 250号（2021年2月） / 251号（2021年5月） / 252号（2021年6月）
なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している
<https://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>。
2. 東京地域グループメーリングリスト（d-tokyo@daitoken.com）を用いて、例会等のお知らせを行った。
なお、登録アドレス数は2021年6月10日現在で98件（アドレス数。昨年度より6件減）である。
3. Webサイト（<https://daitoken.com/tokyo>）にて、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。
4. 東京地域グループ公式のTwitter（アカウント@dtk_tokyo）を活用し、当グループおよび大図研（他グループを含む）の活動PR等を行った。なお、ツイート数は合計187件（運用開始時からの累計）、フォロワー数は119名である（2021年6月13日現在）。
5. また、当地域グループで運用しているこれら4つの手段の他、大学図書館研究会（全国）のメーリングリストへの投稿を通じ、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。

④ 事務局（組織）（担当：下山，高瀬）

2020/2021年度の期首会員数は98名で、新規加入会員2名、大図研会員で地域グループ無所属者の加入会員1名（以上、増加3名）、退会会員は12名、2019/2020年度末会費未納除籍1名（減少13名）であった。2021年7月1日現在の会員数（予定）は88名である。

⑤ 会計（担当：青山，松原）

1. 地域グループ活動費については全国事務局会費徴収担当より2回（7月，1月）に分けて振込があった（6月にも振込予定）。過年度の未収金については全国委員会資料「会費長期（3年度分）未納者リスト」を基に会費徴収担当と連絡を取り合いながら実施し、支部時代の未納金の一部を回収することができた。

2. 会計監査時に指摘のあった東京地域グループで所有する研究会誌の冊数確認を行った。
3. 支出については、合同例会講師謝金について関東3地域グループで検討の結果予算より減額されたこと、会員向け会誌配布件数が想定よりも少なかったことなどにより、予算案に対して支出減となった。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告（担当：立原）

1. 下記の分担により東京地域グループの運営を行った。

- a. 代表：立原
- b. 副代表：山口
- c. 事務局（組織）：下山, 高瀬
- d. 研究企画：安達, 高瀬, 松原
- e. 広報：安達, 下山
- f. 会計：青山, 松原
- g. 全国委員：下山
- h. オブザーバ：石津, 上村, 野寄, 嶺井

2. 2020年8月から2021年6月まで、以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2020/8/31	19:30	21:20	オンライン
2	2020/9/28	19:30	21:20	オンライン
3	2020/10/26	19:30	21:20	オンライン
4	2020/11/30	19:30	21:12	オンライン
5	2020/12/14	19:30	21:24	オンライン
6	2021/1/14	19:30	21:30	オンライン
7	2021/1/26	19:30	21:25	オンライン
8	2021/2/18	19:30	21:00	オンライン
9	2021/3/12	19:30	21:10	オンライン
10	2021/4/14	19:30	21:15	オンライン
11	2021/5/14	19:30	21:18	オンライン
12	2021/6/8	19:30	21:20	オンライン

2020/2021年度東京地域グループ総会による運営委員の決定が2020年8月8日だったため、運営委員会は8月から開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合形式で開催することができず、オンラインのみでの開催となっている。東京地域グループで契約しているZoomのほか、Googleドキュメントを使用したテキストチャットも併用している。

地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館研究会東京地域グループWebサイト (<https://www.daitoken.com/tokyo/operation.html>) にて公開している。

また、運営委員会の作業をスムーズに行うため、グループウェア Backlog（無料サービス）と Microsoft365 を利用した。

1.2. 2020/2021年度 決算報告・会計監査報告

（別紙）

2. 第2号議案

2.1. 2021/2022年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年2回程度の講演会を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を1号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

なお、講演会の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、オンライン開催を中心とし、可能であれば対面方式での実施も検討する。新規会員の獲得や東京地域グループの認知度向上にも努める。

加えて、会員間の交流を深めることを目的として、会員限定のオンラインによる情報交換会を年2回程度実施する。引き続き、会員からの意見をより企画に反映できるよう留意する。

② 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、引き続き会員向けとしてニュースレターとメーリングリスト、対外向けにTwitterを活用する。合わせて、必要に応じて大図研の他組織にて運営する広報手段への掲載依頼を行う。特に、対外向けに運用するウェブサイトやSNSは不特定多数に当地域グループのみならず大図研を広く周知されることが可能であり、新規会員獲得に結びつけるための手段とも位置付ける。

また、大図研会員以外でも参加可能な例会等については、図書館関連イベント情報を発信する外部の媒体への告知を行う。

東京地域グループニュースレターは、以下を目的として、年4回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

また、2020/2021年度に引き続き、印刷費・通信費の削減を図るため、(1)紙媒体の郵送、(2)電子版のみ、の選択肢を用意し、積極的に電子版のみの希望者を募る。

③ 事務局(組織)

全国組織との情報乖離が無きよう、全国組織から連絡があった際には迅速に対応を行う。

④ 会計

地域グループ活動費の金額の妥当性について検討する。

引き続き、収支バランスの適正化を図る。また、過年度会費未納者の督促を行う。

⑤ 地域グループ運営委員会

月1回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面はオンラインにより打ち合わせを実施する。

グループウェア Backlog, Microsoft365, Zoom を継続して活用する。

2.2. 2021/2022年度 予算案

(別紙)

2.3. 2021/2022年度 地域グループ運営委員会及び会計監査人

※総会当日に提案するものとする。

以上